

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	経営情報論	
科目基礎情報						
科目番号	53017		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	経営情報学科		対象学年	3		
開設期	4th-Q		週時間数	4		
教科書/教材	なし					
担当教員	松野 成悟					
到達目標						
(1) 表計算ソフトの機能と利用方法について理解し、説明することができる。 (2) さまざまな経済・経営データを表形式で表現し、適切に集計や分析すること、ならびにグラフ化による視覚的な表現を行うことができる。 (3) 意思決定支援や経営効率などの向上を目的とした経済・経営データの分析とその活用ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	表計算ソフトの機能と利用方法について理解し、説明することができる。8割以上	表計算ソフトの機能と利用方法について理解し、説明することができる。7割以上	表計算ソフトの機能と利用方法について理解し、説明することができる。6割以上	表計算ソフトの機能と利用方法について理解し、説明することができない。6割未満		
評価項目2	さまざまなデータを表形式で表現し、適切に集計や分析すること、ならびにグラフ化による視覚的な表現を行うことができる。8割以上	さまざまなデータを表形式で表現し、適切に集計や分析すること、ならびにグラフ化による視覚的な表現を行うことができる。7割以上	さまざまなデータを表形式で表現し、適切に集計や分析すること、ならびにグラフ化による視覚的な表現を行うことができる。6割以上	さまざまなデータを表形式で表現し、適切に集計や分析すること、ならびにグラフ化による視覚的な表現を行うことができない。6割未満		
評価項目3	意思決定支援や経営効率などの向上を目的とした経済・経営データの分析とその活用ができる。8割以上	意思決定支援や経営効率などの向上を目的とした経済・経営データの分析とその活用ができる。7割以上	意思決定支援や経営効率などの向上を目的とした経済・経営データの分析とその活用ができる。6割以上	意思決定支援や経営効率などの向上を目的とした経済・経営データの分析とその活用ができない。6割未満		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	意思決定支援や経営効率などの向上を目的とした経済・経営データの分析方法と活用技術について講義と演習を行う。					
授業の進め方・方法	教科書は使用せず、配付資料にもとづいて授業を進める。参考図書等については適宜紹介する。					
注意点	レポートの提出期限を守ること。レポート剽窃行為（インターネットや友人などからの盗用やコピーなど）は、その当事者全員のレポート評価全体を0点とする。演習室利用のルールとマナーを守ること。学期内に成績を再評価する場合がある。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	4thQ	9週	1: ガイダンス、表計算ソフトの利用1 2: 表計算ソフトの利用2	1: シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。表計算ソフトの利用法が理解できる。 2: 表計算ソフトの利用法が理解できる。		
		10週	3: 経済・経営データの分析演習1 4: "	3: 経済・経営データの分析演習課題が理解できる。 4: 与えられた課題に取り組みレポートを作成することができる。		
		11週	5: 経済・経営データの分析演習2 6: "	5: 経済・経営データの分析演習課題が理解できる。 6: 与えられた課題に取り組みレポートを作成することができる。		
		12週	7: 経済・経営データの分析演習3 8: "	7: 経済・経営データの分析演習課題が理解できる。 8: 与えられた課題を理解し、適切に取り組むことができる。		
		13週	9: " 10: 経済・経営データの分析演習4	9: 与えられた課題に取り組みレポートを作成することができる。 10: 経済・経営データの分析演習課題が理解できる。		
		14週	11: " 12: 経済・経営データの分析演習5	11: 与えられた課題に取り組みレポートを作成することができる。 12: 経済・経営データの分析演習課題が理解できる。		
		15週	13: " 14: "	13: 与えられた課題を理解し、適切に取り組むことができる。 14: 与えられた課題に取り組みレポートを作成することができる。		
		16週	期末試験は実施しない 15: 全体の学習事項のまとめ	15: 全体の学習事項のまとめが理解できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	経済・ビジネス系分野	商業	情報技術の発達と流通の変容について説明できる。	4	

			情報管理	企業経営と情報システムの関係について説明できる。	4	後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				経営情報システムの変遷について説明できる。	4	
				経営情報システムの設計・開発・管理方法について説明できる。	4	
				情報通信技術とビジネス・プロセスの革新について説明できる。	4	
				電子商取引の仕組みについて説明できる。	4	
				電子商取引の動向と課題について説明できる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0